

新しい大阪へ 11・22 W選

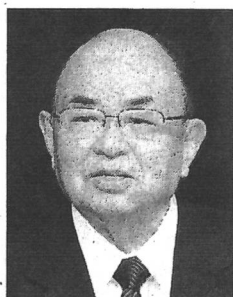
橋下「維新」政治

5月17日の住民投票で「大阪都」構想が否決されました。百二十数年の歴史と伝統と文化をもっている大阪市がむちゃくちゃに解体されることを市民は避けることを決めました。大阪市が存続できたことは何よりと思っています。

大阪商工会議所には一つの大きなスローガンがあります。「十客万来集客都市大・大阪」。大阪を世界に通用する都市にするというスローガンです。商工連盟のスローガンでもありません。

世界に通用する

大阪の「維新」政治というのは平成の新撰組だと思います。斬って斬って斬り



日本商工連盟大阪地区代表世話人

小池 俊二さん

市民がつくった都市輝け

す。新しい市長、新しい知事で実現していただきたいし、実現できると確信しています。

大阪は二つの大きな時代を経ていきます。

一つは大正末期から昭和初期。大阪は日本の中心都市として非常に輝きました。大阪城は大阪市民の手で、中之島中央公会堂も株式仲買人の岩本栄之助の寄付で建設が始まり、市民の協力でできました。綿業倶楽部、電気倶楽部やインフラ基盤を市民の手でつくりあげました。そういうもっ

とも輝く時代は市民が活躍する時代でした。

小学生のころ、戦中に「ま

たも負けたか8連隊」という言葉をよく聞きました。

私は長野県の生まれですが松本は旧陸軍歩兵第50連隊、大阪は8連隊です。当時は意味がわかりませんでしたが大阪は戦争が嫌いですが商売や仕事に精をつくすというところだったんです。

本の工業力がつくられまして。多くの人が苦しんだ

思います。その煙の陰で

日本をつくり支えた歴史があります。大阪は商業の街

であり工業の街です。市民が力いっぱい働いて、考えつくりあげた都市です。1950年ごろ「ガチャ万」という言葉が使われまして。ガチャという音で1万円が舞い上がる。泉州の機（はた）屋さんガチャンと機を織ってつくりだした生地がブラウスになり、輸出されていき、日本に富

産で電気製品や自動車がつくられ、戦後の10年間、大阪が日本の復興の基礎をつくったと考えています。

つぶしてはダメ

この大阪をつぶしてはなりません。輝く大阪、世界に通用する大阪にするために柳本頭（あきら）市長候補と栗原貴子知事候補が勝つべく総力をあげてがんばりたいと思っています。

「さよなら維新政治」は大変すばらしい、いい言葉だと思います。どうぞ皆さんも心に刻んでいただきたいと思っています。

（10月29日、大阪市内で開かれた集会でのあいさつから）